

景 気 動 向 調 査

(第 185 回)

2017 年 4 月 ~ 6 月 期 実 績

2017 年 7 月 ~ 9 月 期 予 測

株 式 会 社 北 日 本 銀 行

経 営 企 画 部

目 次

調査要領	1
概 況	2
1．県内景況感について	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	5
(2) 仕入高または生産高	6
(3) 在 庫	7
(4) 収 益	8
(5) 販売価格・仕入価格	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	10
(2) 設備投資の目的	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	12
(2) 現金・預金	13
(3) 金融機関借入	13
(4) 販売代金回収期間	14
(5) 仕入代金決済期間	14
5．経営上の問題点について	15

調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

記

- 1．実施時期 2017年6月下旬～2017年7月上旬
- 2．調査対象期間 2017年4月～6月期実績
 2017年7月～9月期予測
- 3．調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先 岩手県内企業289社
- 5．回答数 147通（回答率 50.87 %）
 内訳 製造業46社 建設業35社 卸・小売業66社
- 6．調査の主要項目 ・業況について
 ・設備投資の動向について
 ・資金繰りの状況について
 ・当面する経営上の問題点について

以 上

【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

概 況

2017年4～6月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 53.0 と前期（2017年1月～3月期） 56.6 と比較し、3.6ポイント上昇した。
2017年7～9月期は、景況感は個別項目も上昇傾向にあることから、全体感は上昇する見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	4～6月期実績	7～9月期見通し
景況感	53.0	40.0
売上高・出荷高	25.1	12.2
収益	33.6	21.9
販売価格	6.1	1.3
仕入価格	19.8	20.6
資金繰り	12.8	11.6

・岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第 153 回	09年1～3月	92.7
2	第 152 回	08年10～12月	91.3
3	第 124 回	01年10～12月	91.2
4	第 109 回	98年1～3月	90.6
5	第 111 回	98年7～9月	90.0

（1971（昭和46）年以降）

<岩手県の参考データ>

・有効求人倍率の推移

平成 29 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.42	1.40	1.42									

平成 28 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.28	1.28	1.32	1.32	1.24	1.28	1.30	1.29	1.33	1.37	1.37	1.37

・新設住宅着工戸数の推移

平成 29 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
699	633										

平成 28 年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
581	780	852	807	687	611	827	736	635	454	493	511

1．県内景況感について

全体のD Iは、 53.0であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が 41.3、建設業が 60.0、卸・小売業が 57.6 と、前回調査時と比べて景況感は、製造業と建設業はやや上向き、卸・小売業は低下した。

7～9月期見通しでは、製造業が 34.8、建設業が 49.9、卸・小売業は 38.5 と、全業種で上昇する見通しとなっている。

2．業況について

(1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では 25.1であった。業種別では、製造業が 17.4、建設業が 45.7、卸・小売業が 19.7である。

(2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが 17.4、卸・小売業の仕入高は 18.5となった。

(3) 在 庫

製造業の製品在庫D Iは 23.8、卸・小売業の商品在庫は 18.7となった。

(4) 収 益

D Iは、全体では 33.6であった。業種別では、製造業が 20.0、建設業が 51.4、卸・小売業が 33.4である。

(5) 販売価格・仕入価格

販売価格は 6.1、仕入価格は 19.8であった。

3．設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は 20.5%となっている。

業種別では、製造業が 26.1%、建設業が 11.4%、卸・小売業が 21.5%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となった。

4．資金繰り状況について

D Iは、全体では 12.8であった。業種別では、製造業が 6.5、建設業が 20.0、卸・小売業が 13.7である。

5．経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「人手不足」、「収益不振」、「過当競争」が上位を占めている。

1. 県内景況感について

～ 実績は、製造業は上昇、建設業はやや上向き、卸・小売業は低下した ～

[4～6月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が4.8%（前期4.0%）、「悪い」が57.8%（同60.6%）で、DIは 53.0（同 56.6）と、前期に比べて3.6ポイント上昇した。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 41.3（同 53.0）、建設業が 60.0（同 64.9）、卸・小売業が 57.6（同 54.3）となっており、製造業は上昇、建設業はやや上向き、卸・小売業は低下した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が6.9%、「悪くなる」が46.9%であることから、DIは 40.0となり、4～6月期実績と比較して、全体感は上昇する見通しとなっている。

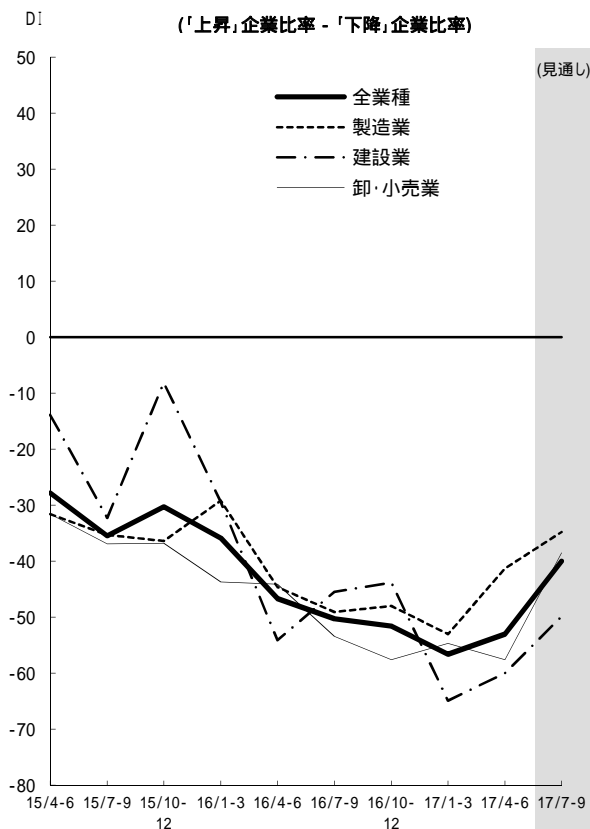
業種別にみると、製造業が 34.8、建設業が 49.9、卸・小売業が 38.5となっており、全業種において上昇する見通しである。

県内景況感(前年同期比)

		（％）					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	4～6月 (実績)	0.0	4.8	37.4	50.3	7.5	-53.0
	7～9月 (見通し)	0.0	6.9	46.2	40.0	6.9	-40.0
（製造業）	4～6月 (実績)	0.0	8.7	41.3	45.7	4.3	-41.3
	7～9月 (見通し)	0.0	6.5	52.2	37.0	4.3	-34.8
（建設業）	4～6月 (実績)	0.0	5.7	28.6	54.3	11.4	-60.0
	7～9月 (見通し)	0.0	11.8	26.5	52.9	8.8	-49.9
（卸・小売業）	4～6月 (実績)	0.0	1.5	39.4	51.5	7.6	-57.6
	7～9月 (見通し)	0.0	4.6	52.3	35.4	7.7	-38.5

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

～ 製造業は上昇、建設業、卸・小売業は低下 ～

[4～6月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が25.2%(前期26.2%)、「減少」が50.3%(同48.4%)となり、DIは、25.1(同 22.2)と2.9ポイント低下した。

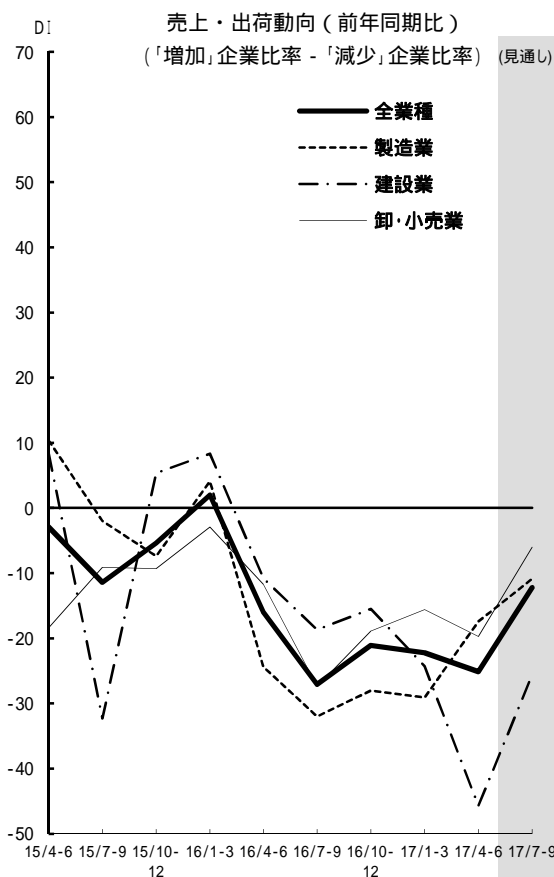
業種別にDIをみると、製造業 17.4(前期 29.1)、建設業 45.7(同 24.3)、卸・小売業は 19.7(同 15.6)となっており、製造業は上昇、建設業、卸・小売業は低下した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が26.6%、「減少」が38.8%であることから、DIは 12.2となり4～6月期実績と比較して、上昇する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業で 10.9、建設業で 25.6、卸・小売業で 6.0となっており全業種で上昇する見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(%)					DI
期	増加	やや増	不変	やや減	減少		
全業種	4～6月 (実績)	4.1	21.1	24.5	36.7	13.6	-25.1
	7～9月 (見通し)	1.4	25.2	34.6	31.3	7.5	-12.2
(製造業)	4～6月 (実績)	4.3	23.9	26.2	32.6	13.0	-17.4
	7～9月 (見通し)	2.2	17.4	49.9	28.3	2.2	-10.9
(建設業)	4～6月 (実績)	5.7	8.6	25.7	40.0	20.0	-45.7
	7～9月 (見通し)	2.9	28.6	11.4	37.1	20.0	-25.6
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	3.0	25.8	22.7	37.9	10.6	-19.7
	7～9月 (見通し)	0.0	28.8	36.4	30.3	4.5	-6.0



(2) 仕入高または生産高

～ 実績は製造業、卸・小売業とも低下 ～

[4～6月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が23.9%（前期24.5%）、「減少」が41.3%（同38.8%）でありDIは17.4（同14.3）と3.1ポイント低下した。

卸・小売業（仕入高）では「増加」と答えた企業は24.6%（前期27.4%）、「減少」が43.1%（同40.3%）で、DIは18.5（同12.9）と5.6ポイント低下した。

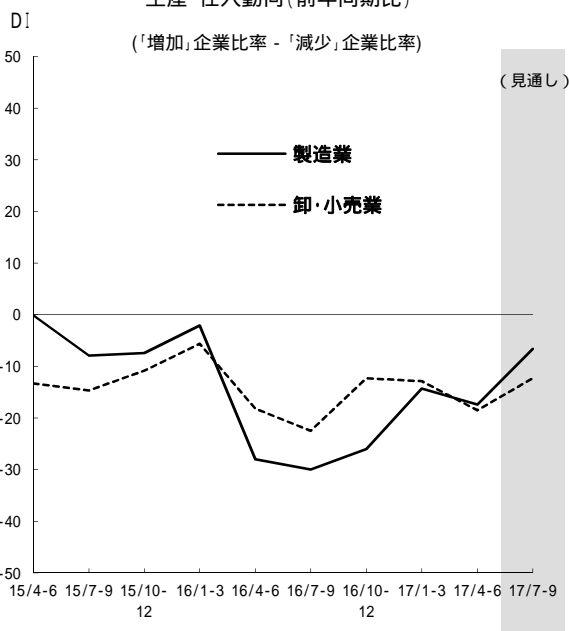
[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については「増加」と答えた企業が17.3%、「減少」が23.9%であることから、DIは、6.6で、4～6月期実績と比較して、10.8ポイント上昇する見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が24.6%、「減少」が36.9%であることから、DIは12.3で、4～6月期実績と比較し上昇する見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
（製造業）	4～6月 （実績）	4.3	19.6	34.8	34.8	6.5	-17.4
	7～9月 （見通し）	4.3	13.0	58.8	23.9	0.0	-6.6
（卸・小売業）	4～6月 （実績）	3.1	21.5	32.3	36.9	6.2	-18.5
	7～9月 （見通し）	0.0	24.6	38.5	33.8	3.1	-12.3

生産・仕入動向(前年同期比)



(3) 在庫

～ 在庫実績は製造業、卸・小売業ともに減少 ～

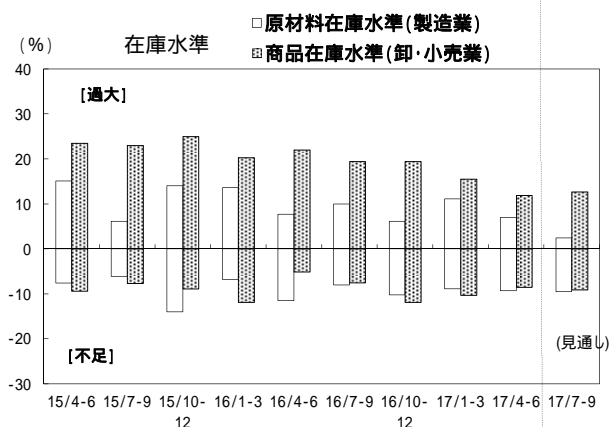
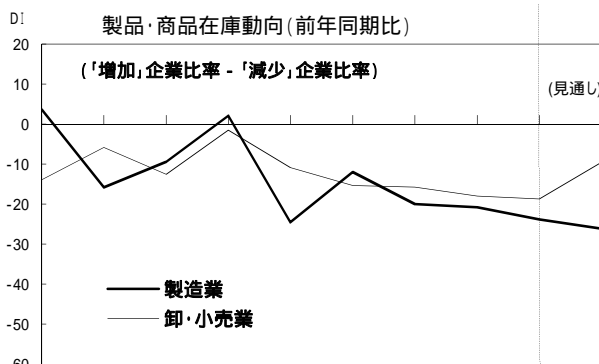
[4～6月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は13.1%（前期16.7%）、「減少」が36.9%（同38.8%）であることから、DIは 23.8（同 20.8）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が11.4%（同10.4%）、「適正」が77.2%（同70.8%）、「不足」が11.4%（同18.8%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が9.4%（前期9.8%）、「減少」は28.1%（同27.8%）であることから、DIは 18.7（同 18.0）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が11.9%（同15.5%）、「適正」が79.6%（同74.2%）、「不足」が8.5%（同10.3%）である。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が6.5%、「減少」が32.6%で、DIは 26.1となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が2.3%、「適正」が83.7%、「不足」が14.0%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が12.7%、「減少」が22.2%であることから、DIは 9.5となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が12.7%、「適正」が78.2%、「不足」が9.1%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	4～6月 （実績）	2.2	10.9	50.0	30.4	6.5	-23.8
	7～9月 （見通し）	2.2	4.3	60.9	30.4	2.2	-26.1
（卸・小売業）	4～6月 （実績）	0.0	9.4	62.5	28.1	0.0	-18.7
	7～9月 （見通し）	0.0	12.7	65.1	22.2	0.0	-9.5



(4) 収 益

～ 実績は製造業はやや上昇、建設業は低下、卸・小売業はほぼ横ばい ～

[4～6月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が20.5%（前期22.3%）、「減少」が54.1%（同47.3%）であり、DIは、33.6（同 25.0）となり、8.6ポイント低下した。

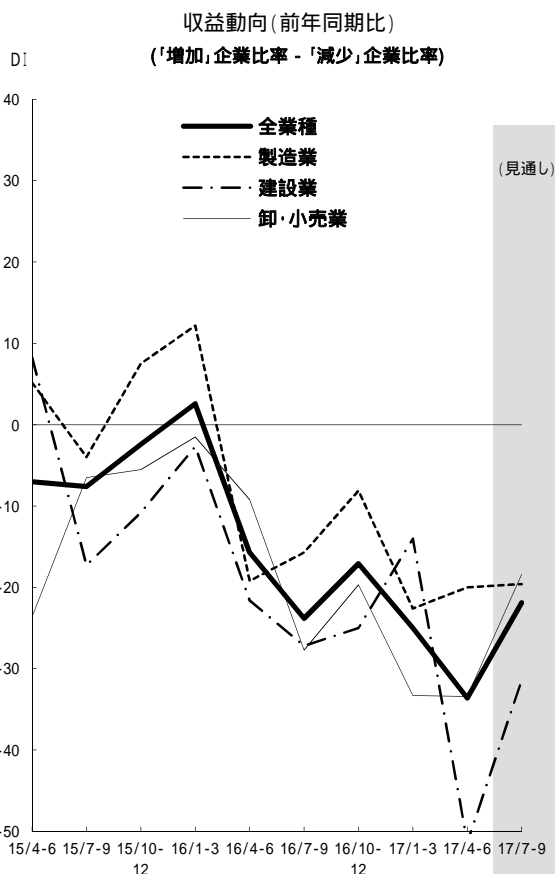
業種別にDIをみると、製造業 20.0（前期 22.6）、建設業 51.4（同 14.0）、卸・小売業 33.4（同 33.3）となっており、製造業はやや上昇、建設業は低下、卸・小売業はほぼ横ばいであった。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が19.9%、「減少」とみる企業も41.8%であることから、DIは 21.9で、4～6月期実績と比較して上昇する見通しである。

業種別にDIをみると、製造業 19.6、建設業 31.4、卸・小売業 18.4で、4～6月期実績と比較して、製造業は横ばい、建設業、卸・小売業は上昇する見通しである。

収 益(前年同期比)

		D I (%)					D I
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	2.7	17.8	25.4	41.1	13.0	-33.6
	7～9月 (見通し)	1.4	18.5	38.3	31.5	10.3	-21.9
(製造業)	4～6月 (実績)	2.2	22.2	31.2	31.1	13.3	-20.0
	7～9月 (見通し)	2.2	13.0	50.0	28.3	6.5	-19.6
(建設業)	4～6月 (実績)	2.9	11.4	20.0	45.7	20.0	-51.4
	7～9月 (見通し)	2.9	25.7	11.4	40.0	20.0	-31.4
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	3.0	18.2	24.2	45.5	9.1	-33.4
	7～9月 (見通し)	0.0	18.5	44.6	29.2	7.7	-18.4



(5) 販売価格・仕入価格

～ 実績は販売価格は低下・仕入価格はやや上昇 ～

[4～6月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が11.6%（前期9.5%）、「低下」が17.7%（同12.9%）であることから、DIは6.1（同3.4）と低下した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が25.2%（前期26.1%）「低下」が5.4%（同6.8%）であることから、DIは19.8（同19.3）とやや上昇した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が12.3%、「低下」とみる企業が11.0%であることから、DIは1.3と上昇する見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が24.0%、「低下」とみる企業が3.4%であることからDIは20.6と上昇する見通しとなっている。

販売価格(前年同期比)

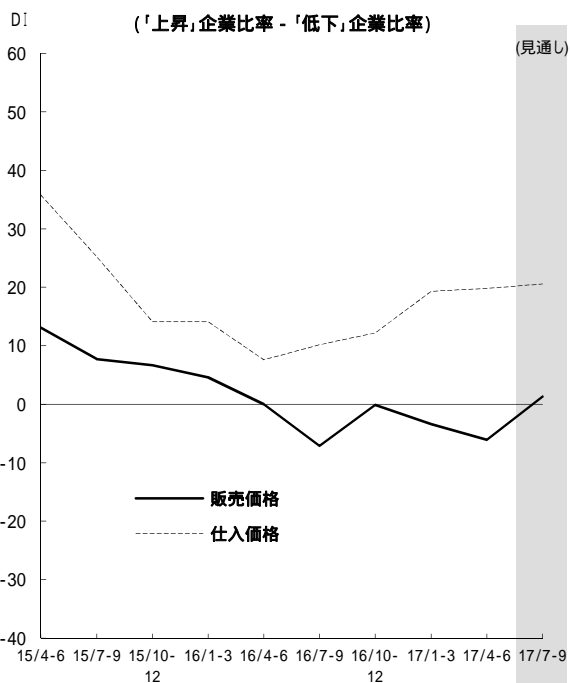
		（％）						
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	DI	
全業種	4～6月 (実績)	0.0	11.6	70.7	15.0	2.7	-6.1	
	7～9月 (見通し)	0.0	12.3	76.7	10.3	0.7	1.3	

仕入価格(前年同期比)

		（％）						
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	DI	
全業種	4～6月 (実績)	0.7	24.5	69.4	5.4	0.0	19.8	
	7～9月 (見通し)	0.7	23.3	72.6	3.4	0.0	20.6	

価格動向(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「低下」企業比率)



3.設備投資の動向について

(1) 設備投資の実施状況

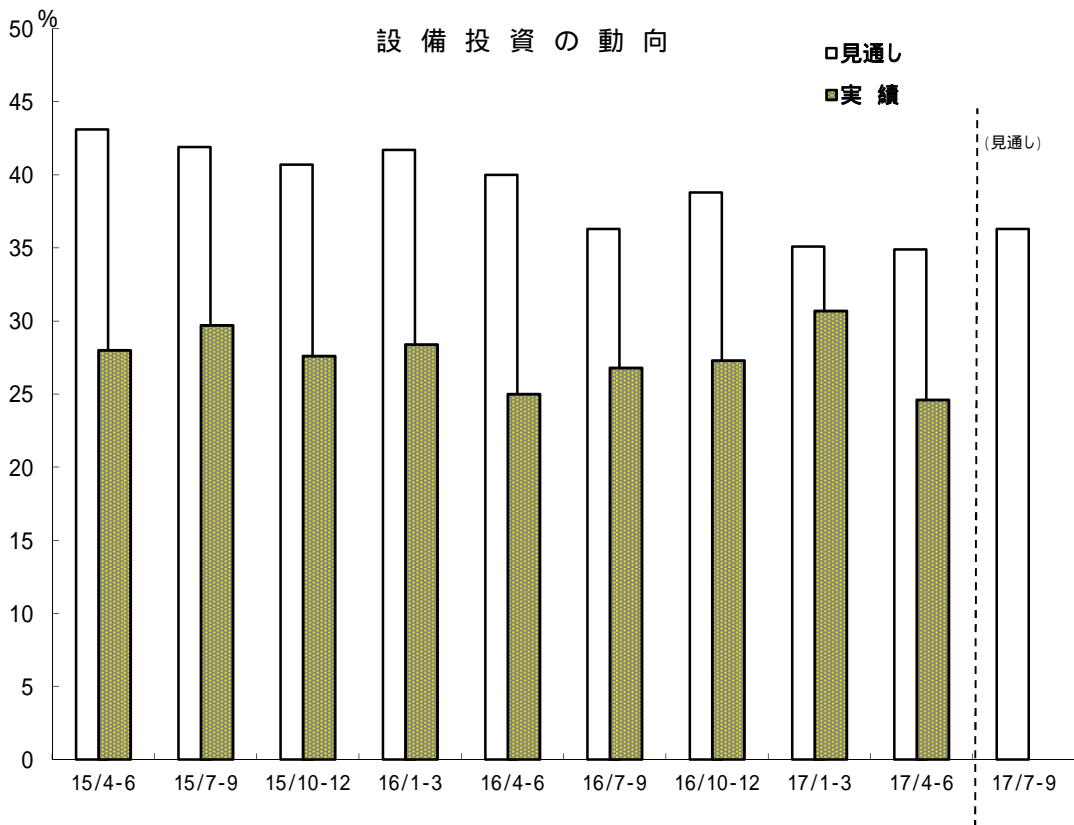
～ 実績は全業種で低下 ～

[4～6月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は24.6%（前期30.7%）と前期比低下した。

これを業種別にみると、製造業30.4%（前期32.7%）、建設業14.3%（同24.3%）、卸・小売業26.1%（同32.8%）であり、全業種で低下した。

[7～9月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で16.4%（前期25.9%）、「計画はあるが具体化していない」は19.9%（同16.4%）、「計画はない」は63.7%（同65.1%）であった。「計画あり」は合計36.3%となっている。

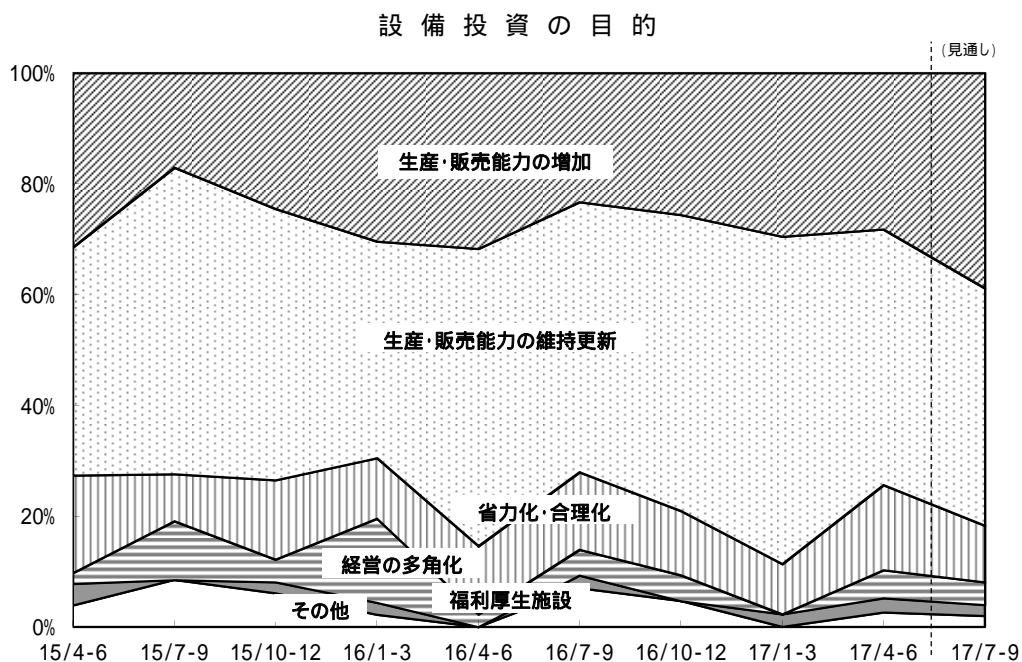
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で47.8%（前期43.7%）、建設業で20.0%（同24.3%）、卸・小売業で36.9%（同34.4%）の見通しとなっている。



(2) 設備投資の目的

[4～6月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(24.9%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が46.2%(前期59.1%)でトップとなり「生産・販売能力の増加」が28.2%(同29.5%)で2位となった。業種別で見ると、全業種が「生産・販売能力の維持更新」がトップであった。

[7～9月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(36.3%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が42.9%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」38.8%、「省力化・合理化」が11.2%で3位となっている。



4. 資金繰り状況について

(1) 資金繰り状況

～ 実績は全体感で低下、見通しは建設業が上昇予想 ～

[4～6月期の実績] 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が12.3%（前期14.1%）、「苦しくなった」が25.1%（同25.5%）であることから、DIは12.8（同11.4）と低下した。

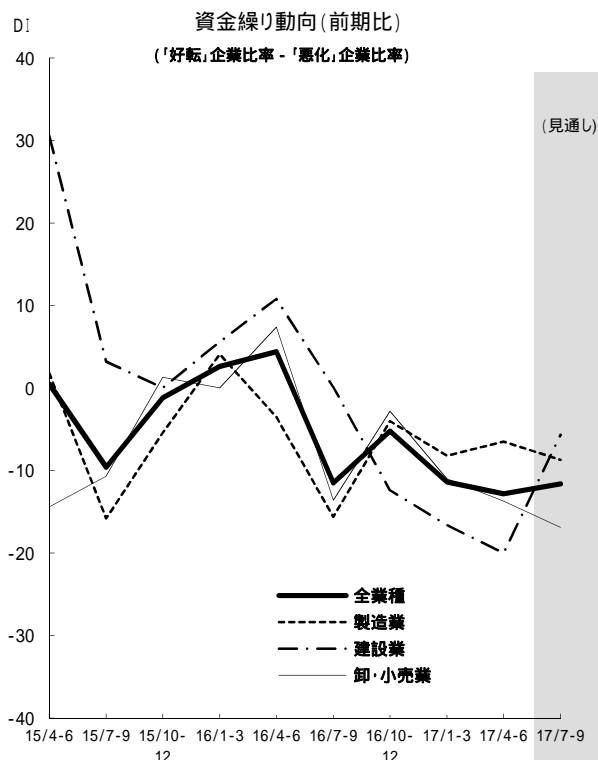
業種別にDIをみると、製造業が6.5（前期8.2）、建設業が20.0（同16.6）、卸・小売業は13.7（同11.0）と、製造業はやや上昇、建設業は低下、卸・小売業はやや低下した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が13.0%、「苦しくなる」が24.6%で、DIは11.6となり、4～6月期実績と比較して、やや上昇する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業8.7、建設業5.7、卸・小売業16.9となっており、製造業、卸・小売業が低下、建設業が上昇する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		（％）					DI
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	4～6月 (実績)	1.4	10.9	62.6	19.0	6.1	-12.8
	7～9月 (見通し)	0.7	12.3	62.4	21.2	3.4	-11.6
(製造業)	4～6月 (実績)	2.2	15.2	58.7	13.0	10.9	-6.5
	7～9月 (見通し)	2.2	15.2	56.5	19.6	6.5	-8.7
(建設業)	4～6月 (実績)	2.9	0.0	74.2	14.3	8.6	-20.0
	7～9月 (見通し)	0.0	14.3	65.7	17.1	2.9	-5.7
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	0.0	13.6	59.1	25.8	1.5	-13.7
	7～9月 (見通し)	0.0	9.2	64.7	24.6	1.5	-16.9



(2) 現金・預金

[4～6月期の実績] 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が17.6%（前期18.1%）、「減少した」が34.7%（前期38.2%）であることからDIは 17.1（同 20.1）と上昇した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が10.2%、「減少する」が36.7%であることから、DIは 26.5と低下する見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

[4～6月期の実績] 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が13.3%（前期18.5%）、「減少した」が40.6%（同30.8%）であることからDIは 27.3（同 12.3）と低下した。

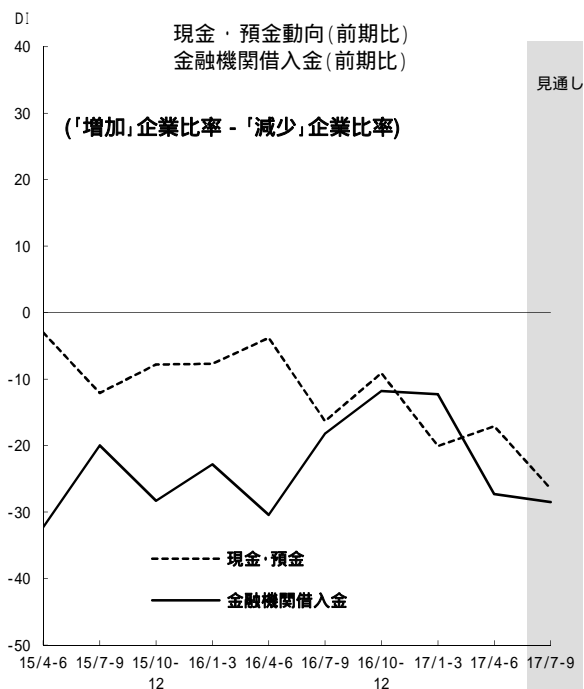
[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が11.1%、「減少する」が39.6%であることから、DIは 28.5と低下する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	2.0	15.6	47.7	29.3	5.4	-17.1
	7～9月 (見通し)	1.4	8.8	53.1	31.3	5.4	-26.5

金融機関借入金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	1.4	11.9	46.1	36.4	4.2	-27.3
	7～9月 (見通し)	0.7	10.4	49.3	35.4	4.2	-28.5



(4) 販売代金回収期間

[4~6月期の実績] 販売代金回収期間(前期比)については、「短くなった」とする企業が1.4%(前期0.0%)、「長くなった」が7.5%(同10.1%)であることから、DIは6.1(同10.1)となった。また91.1%(同89.9%)の企業は「変わらない」としている。

[7~9月期の見通し] 1~3月期の見通し(当期比)をみると、「短くなる」とみる企業が1.4%、「長くなる」が6.8%であることから、DIは5.4となる。また、91.8%の企業は「変わらない」とみている。

(5) 仕入代金決済期間

[4~6月期の実績] 仕入代金決済期間(前期比)については「長くなった」とする企業が0.7%(前期1.3%)、「短くなった」が1.4%(同2.0%)であることから、DIは0.7(前期0.7)となった。また、97.9%(前期96.7%)の企業は「変わらない」としている。

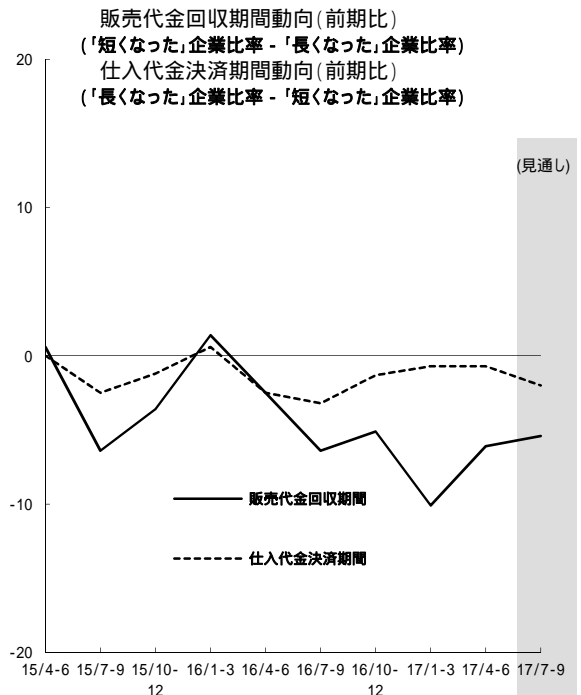
[7~9月期の見通し] 7~9月期の見通し(当期比)をみると、「長くなる」とみる企業が0.7%、「短くなる」が2.7%であることから、DIは2.0となる。また、96.6%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		期					DI
		短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	4~6月 (実績)	0.0	1.4	91.1	7.5	0.0	-6.1
	7~9月 (見通し)	0.0	1.4	91.8	6.8	0.0	-5.4

仕入代金決済期間(前期比)

		期					DI
		長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	4~6月 (実績)	0.0	0.7	97.9	1.4	0.0	-0.7
	7~9月 (見通し)	0.0	0.7	96.6	2.7	0.0	-2.0



5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は全業種「売上・受注不振」と「人手不足」～

4～6月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」29.4%（前期25.8%）、「人手不足」16.4%（前期15.9%）、「収益不振」11.5%（同12.5%）、「過当競争」11.5%（前回10.0%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」が30.4%で1位、「人手不足」が16.5%で2位、「原材料・仕入価格高」が11.4%と3位となった。
建設業では「売上・受注不振」が31.7%で1位となり、「過当競争」が26.7%で2位、「人手不足」が16.7%で3位となった。
卸・小売業では「売上・受注不振」が29.3%で1位、「人手不足」が14.7%で2位、「収益不振」が14.7%で3位となっている

経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

